

草津市教育委員会会議録

平成25年12月定例会

(12月26日開催)

草津市教育委員会

出席委員	委員長	馬場輝代
	委員	村山美智子
	委員	麻植美弥子
	委員	谷川尚己
	教育長	三木逸郎

議事参与	教育部長	加藤幹彦
	教育部副部長（総括）	小寺繁隆
	教育施設整備室長	吉川寛
	教育部副部長（街道交流担当）	八杉淳
	教育部副部長（学校教育担当）	清水康行
	教育総務課長	山本美佐子
	生涯学習課長	堀田智恵子
	スポーツ保健課長	高岡良秀
	文化財保護課長	谷口智樹
	図書館長	今井知春
	学校教育課長	糠塚一彦

事務局	教育総務課副参事	松浦正樹
-----	----------	------

開会 午後 2時30分

馬場委員長

それでは、ただいまから草津市教育委員会12月定例会を開会いたします。

—————日程第1—————

馬場委員長

日程第1、「会期の決定について」であります。本日1日限りとしたいと思いますが、御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

馬場委員長

異議がないようですので、12月定例会は本日1日限りといたします。

—————日程第2—————

馬場委員長

次に、日程第2、「11月定例会会議録の承認について」であります。あらかじめ事務局から配付され、熟読されていると思いますが、御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

馬場委員長

異議がないようですので、11月定例会会議録は承認されたものと認め、谷川委員と村山委員に、後ほど署名をお願いいたします。

—————日程第3—————

馬場委員長

次に、日程第3、「12月定例会会議録署名委員の指名について」であります。教育委員会会議規則第20条第2項の規定により、私から指名いたします。

村山委員と麻植委員をお願いいたします。

—————日程第4—————

馬場委員長

次に、日程第4、「教育長報告」をお願いいたします。

教育長

皆様こんにちは。今年もあと6日で新しい年を迎えます。年の暮れに当たり、うれしい御報告を幾つかさせていただきます。

これまで、質量ともにわたる読書の向上と読書風土の醸成を目指し取り組んできた矢倉小学校が、平成26年度の「こども読書活動優秀実践校」として、文部科学大臣賞を受賞することが内定しました。晴れの授賞式は来年4月に行われる予定です。

日本新聞協会が主催する第4回「いっしょに読もう！新聞コンクール」で、玉川中学校2年の曾我柚花さんが県内で最高賞の奨励賞を受賞しました。曾我さんは年上の高校生が2年連続で英語のビジネスコンテストに出場したことを紹介する記事を読み、使うことはないと思いながら勉強してきた英語が役に立つことに感動し、その思いを綴りました。

「第28回WE LOVE トンボ絵画コンクール」で、笠縫東小学校の津田和輝君が文部科学大臣賞を受賞しました。受賞作はカラフルなトンボが子どもたちを乗せた飛行船を運ぶ様子を伸び伸びと描いたもので、17万点の中から選ばれました。

青少年の健全な育成と競技力の向上を目的にした「京都新聞ジュニア・スポーツ賞」に、近畿中学校総体の体操個人総合（4種目）で優勝した高穂中学校3年の寺地祐次郎君が選ばれました。

「京都新聞スクラップコンクール」で、草津中学校3年の森眞子さんが滋賀県知事賞を受賞しました。「小学校3年から続けたスクラップも今年が最後、まさに集大成。審査員も絶賛の力作、7年間よく頑張りました。」と講評されました。

「税に関する作文コンクール」で、草津中学校3年の北川珠々さんの作品が、国税庁長官賞を受賞しました。北川さんは、草津市が住みよさランキングで近畿一位になったことを知り、草津のよさを支えている税金の大切さについて書きました。

社会体育の分野でも、一般社団法人草津市体育協会の小傳良輝男理事長と草津市スポーツ推進委員会の嘉悦和子会長が、文部科学大臣表彰を受賞されました。草津の社会体育関係者のダブル受賞並びに女性の受賞は初めてのことです。草津のスポーツが新たな展開を目指している時期のお二人の受賞は、市民スポーツの発展にとって朗報でした。過日、受賞を祝う会が持たれ、市長、議長とともに参加しました。

12月1日の京都新聞に、「中学生の声 大人に届け」の見出しで、草津市立少年センターが子どもたちの健全育成に取り組んでいる活動が掲載されました。街頭で配布するポケットティッシュには、「いじめをなくそう」「非行を許すな」などの啓発標語ではなく、「さわやかな風を吹かそう～勇気・元気のこもったあなたのメッセージをいろいろな人たちへ」との呼びかけに応じた中学生たちが、「人前で話せるようになりたい」、「あいさつ欠かさず」や「部活頑張る」など、みずからの目標を書きました。子どもたちの健全な心に依拠した取り組みを展開している少年センターの活動が注目されています。

12月8日、草津市PTA大会の開会行事に先立ち、第9回草津市青少年俳句大会の表彰式が行われました。5,043句から選ばれた優秀作10句を教育長が表彰しました。ここでは優秀作2句と選者の講評を御紹介します。

「卒業は 終わりでない 始まりだ」笠縫小学校5年、宇戸里奈、石倉政子先生評—卒業してやれやれの気持ちの多い中、終わりではない始まりだと言い切った中に、6年生になったら頑張るぞという気持ちがあらわれていて、とても頼もしく思いました。

続いて、「秋の海 夕日が波に おぼれてる」高穂中学校2年、千代実優、北田夏生先生評—釣瓶落としと表現されるように秋の日暮れの太陽はストーンと沈む。あっと言う間の海の日没をユーモラスに表現。いつもながら選者の先生の講評に感謝と脱帽。

PTA大会では、末谷朋美会長の挨拶と橋川渉市長、中島一廣議長の祝辞、功労表彰に続き、笠縫幼稚園と笠縫東小学校、老上中学校のPTAによる事例発表がありました。記念講演は、杉並区立和田中学校元校長の藤原和博氏が教育改革を実践した経験などをもとに、「～子どもたちの未来を拓くために～つながりよう！学校と地域社会」を演題に話されました。

次に、11月28日開会の草津市議会定例会は、12月20日に閉会しました。教育委員会へは10人の議員から以下の質問がありました。(1)公立学校の土曜日授業について、(2)アミカホール使用停止についての市の対応、(3)アミカホール条例の変更について、(4)びわこ文化公園都市ビジョンについて、(5)環境学習について、(6)運動できる環境整備について、(7)人権教育・道徳教育について、(8)学校教育ICTについて、(9)特別支援教育におけるタブレット端末の選択について、(10)中学校給食の実現について、(11)学力テストの結果公表についてなど、11項目にわたって質問がありました。

御承知のとおり、11月29日、文部科学省は、全国学力・学習状況調査の結果について、来年度より市町村教育委員会の判断で学校別の平均正答率の公表を可能とする旨の発表をしました。市議会一般質問で、学校別の成績公表についての質問があり、教育委員会として以下のように答弁しました。

「児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、学力を培うことは教育の目的であり、教育施策や教育活動の改善に生かすことを趣旨とする全国学力・学習状況調査は意義がある。分析結果などを保護者や地域にお知らせし、理解と協力を求めることは大切だが、順位づけなどにつながる学校別平均正答率の公表については、さまざまな問題が想定されるので、慎重に検討したうえで来年の秋ごろには最終的な判断をしたい。」と答えました。11月市議会の答弁内容につきましては、議会ホームページの録画中継をごらんいただくようお願いいたします。

次に、委員の皆様には12月16日にタブレットパソコンを先行的に導入した渋川小学校を訪問していただきました。当日はタブレットパソコンを活用した特別支援学級と5年生の授業参観並びに管理職等との懇談がありました。このテーマは議会質問にもありましたが、議員の関心は大変高く、19人の議員が授業を参観しました。児童数と同じぐらいの大人が教室に入ったこともあり心配しましたが、2年目の教員ががんばり、子どもたちも普段どおりの姿で授業を受けてくれました。電子黒板やタブレットパソコンはすぐれた教具ですが、子どもたちと向き合い、子どもの心を惹きつける教師力が何よりも大切と思いました。感想等ございましたら、よろしく願います。

最後に、議会質問の中でもありましたが、これまで各界の第一人者を学校に招き、子どもたちの知的好奇心を膨らませてきた「スペシャル授業 in 草津」は、今年度で5年目に入りました。県内13大学学長による特別授業に始まり、千玄室さんや池坊由紀さん、草津にゆかりがある競馬の武豊騎手、ソフトバンクの松田宣浩選手や滋賀銀行の大同良夫頭取など多彩な講師陣は49人プラスになりました。

今年度は10校で実施され、年明けから歌手の加藤登紀子さん、京都大学IPS細胞研究所の堀田秋津さん、文部科学省初等中等局課長補佐の千々岩良英さんをお迎えします。自らの学びや体験、そして夢を子どもたちに語ることを快諾していただいた講師の皆様、またコーディネートをした教職員への感謝とともに、子どもたちが各界のスペシャリストと直接出会うことで、新たな発見や大きな夢を抱いてくれたものと確信しています。

長くなりましたが、来年の午年が皆様方にとってよい年であることを祈念いたしまして、報告を終わります。

馬場委員長

ありがとうございました。

先ほど教育長報告の中にもありましたけれども、12月16日に渋川小学校で実施されました学校訪問につきましては、委員の皆様のほかに市議会議員もたくさん参加していただきました。そのときの御感想や、また御意見、そのほ

かにもスペシャル授業などを参観された御感想などにつきまして、何かありましたらよろしくお願ひいたします。

村山委員さん、お願ひします。

村山委員

私の方からは、スペシャル授業を幾つか見学してまいりましたので、そちらについて御報告いたします。

まず、11月29日、第二小学校にて京都大学大学院生のパズル研究所、東田さんの授業を見学いたしました。こちらでは、児童の皆さんが事前に先生のことを調べて、経歴をまとめたり、進行も全て児童自らが行うなど、この授業に総括的に関わっておられる姿が印象的でした。校長先生によりますと、これらは年間を通して行っているキャリア教育の一環として、ほかの先生を招くときにも同様に行っておられるということで、こうして授業に主体的にかかわることで、より理解も深まるでしょうし、たいへんよい取り組みだなと感じました。

この東田さんというかたは、子どものころからとにかくパズルに夢中だったそうで、どうやったらこれを世の中のみんなに広められるかと考えた結果、全国47都道府県でパズルのピラを配り、果てはアフリカ、モザンビークの電気も水道も通っていない町でパズルを使った授業を行い、現在においては大学院でパズルを研究されているという、とてもユニークな経歴の持ち主です。

このような一見、ちょっと無茶かなと思えるような挑戦にも、ひたすら自分を信じてチャレンジし続けたことで、次第に応援してくれる人が集まってきたという経験などを、時折ユーモアを交えながら語っていただきました。

特に印象的だったのは、「今後の目標は何ですか。」という児童からの質問に対して、「宇宙人にもパズルを配りたい。」と答えられたことで、「君たちの世界は、君たちの可能性は無限大なんだよ。」というふうに、ばあんと扉を開け放ってくれたような、そんなすがすがしさを私自身も感じました。

授業の後には、お礼の挨拶に児童が校長室のほうに来てくれたんですけども、例えば、「自分はお医者さんになりたいから、私も頑張る。」とか、「僕は勉強は余り得意ではないけれども、目標をもって進んだらいいんだなというふうに思いました。」とか、先生の話をそれぞれ自分に置きかえて捉えてくれていた様子で、本当に生き生きとした目で感想を述べてくれていたのがよかったですと思います。

それから、12月11日には、滋賀医科大学生理学講座の松浦教授による、老上小6年生と老上中2年生対象の授業を見学してまいりました。こちらは「心臓の仕組みと働き、命のすばらしさ」と題して、ふだん見ることのできない体の内部や、実際の心臓の役割や働きを、動画を交えて、また難しい漢字に

は全て振り仮名を振った解説で、大変丁寧に説明してくださいました。子どもたちは皆、理科で人体について学んだところだということで、メモをとったりしながら熱心に聞き入っておられました。

終了後の質問の時間では、素朴な疑問から、またふだんから医学に興味を持っていることがとってもよくわかる熱の込もった質問まで次々と手が挙がりました。正直言いますと、小学生にはちょっと難しいかなと、ちょっと心配しながら見てたんですけども、そんな心配は全く無用という感じで、本当に目を輝かせて、本当に次々と先生に疑問をぶつける姿を見て、たとえ難しくても、全てを理解できなかったとしても、そのこと自体もきっと未知の世界の刺激となって伝わっているなということがすごく感じられて、子どもたちからは、この人に聞いたら、きっと何でもわかるという、わくわくした気持ちが本当に伝わってきました。

それぞれふだん余り触れることのない世界に触れて、そこから広がる好奇心、チャレンジ精神、いろいろなものを子どもたちが日々の生活の中で、また将来、ふとした場面で思い出してくれたらいいなというふうに、これからもスペシャル授業が、そういう特別な楽しい時間として続けられることを願います。

以上です。

馬場委員長

ありがとうございました。

ほかのございませんか。

麻植委員。

麻植委員

私からもスペシャル授業の件でお話したいなと思います。私は12月の2日にありました南笠東小学校の6年生60名の授業を見させていただきました。体育館で3時間にもわたる北原達正先生の授業だったのですが、席を立った子どもたちは2、3名で、それもトイレに立ったというだけです。3時間の間、集中力を持続させられた先生の真剣勝負とも言える授業展開で、3時間のなかで二人1組になって「相手の人はバディだよ、一心同体の二人でチャレンジしてください。」という言葉などもありました。子どもたちの3時間の集中力に本当に感動しました。私もずっと子どもたちの周りを立ったまま見学していたのですが、先生の話術、話術ということばではとても失礼なのですが、子どもたちに対するメッセージにとっても感動いたしました。

まず、子どもたちが体育館に入ってきたら、体育館のスクリーンに映し出されていたのは宇宙でのロボットの関係のことや、日本語の字幕もない英語での熱いディスカッションでした。先生は科学を通した人間教育、人材教育をしているとおっしゃっていたのですが、まず「みなさんそれは人の話しを聞く姿勢

ではありません。背筋の伸ばしてください。目を見てください。そしてキチンと言葉を発してください。」とあいさつされ、子どもたちの椅子がガタガタガタと動いて、背筋が伸びて、緊張感に包まれた空間での授業開始となりました。

3時間の授業の中で、それぞれパソコンが1台あって、あとはロボットになるような、プログラミングのできるようなものがあるんですけども、それに直接触った時間というのは半分あるかないかです。約1時間半は「チャンスは自分で掴み取るんだよ。チャンスを活かせば世界に挑戦できるんだよ。」と熱いメッセージも伝えながらずっとお話をされていました。

後で学校の先生にお聞きしたのですが、自分の学校の6年生が3時間集中し続けたということは学校の先生からしても感動的だったということです。文科省の第二期教育振興基本計画の中の4つの基本的方向性の1. 社会を生き抜く力の養成、未来への飛躍を実現する人材の養成というのがありますが、北原先生も「10年後の人材を育成するという意味で授業を行っています。」とおっしゃっていました。ですから、お互い真剣勝負であれば子どもたちの集中力は持続するんだなというのを垣間見せてもらった、感動的なスペシャル授業でした。

それからもうひとつは12月21日なのですが、「地域で彩るコラボレーション」と題した、南笠東学区の街づくり協議会が主催されたイベントに招待を受けて寄せていただきました。その中の第二部に「地域のステージ」というものがありました。その発表の中には玉川中学校の子どもたち、南笠東小学校の子どもたちも来て発表をしていました。南笠東小学校の子どもたちは昨年、自分たちで地域の歌を作ったのでそれを歌いながら手話で伝える発表をしてくれました。もう1つ玉川中学校の生徒の発表だったのですが、立命館で受けた授業の中で、興味が沸いたので自分たちで更にいろいろ調べたということを発表してくれました。私は先ほどのスペシャル授業などいろいろな外部の講師の方が教育現場に入ってくださいますけれども、それを一過性のもので終わらすのではなく、子どもたち自らそこで興味を持ったものを更に調べ学習としてやって、それを地域のみなさんの前で発表することは本当にいい流れ、展開の仕方だなと思いました。ですから先ほど「5年スペシャル授業が続きました。」とおっしゃいましたが、子どもたちに大きな夢を抱いてもらったり、いろいろなメッセージを受け止めることを学校の先生がどのように活かすか、子どもたちが次の授業に向けて新しい調べ学習をするなどの成果として続けていけると、スペシャル授業の意味がもっと大きなものになると感じました。

以上です。ありがとうございました。

谷川委員、お願いいたします。

谷川委員

タブレットの授業を見せてもらったんですけども、取り組みやすいんだけども、それをどう興味を長続きさせるのかというあたり、さらには、子どもともう少し向き合えるようなことを、始めたばかりですので、今後、検討していただけるとよいのかなというふうに思いました。これが1点です。

もう1点は、学力テストの公表の件で、教育長からお話がありましたけれども、これについては、体力テストの結果もそうなんですけれども、その分析方法、順番だけが動くような中で公表するのではなくて、もう少し違った視点から分析をして公表すると、あるいは公表しない、そういうあたりを決めてもらうといいのかなというふうに思います。今の社会では、どうも順番ばかりが動きますので、ちょっと危険かなという、そんな感じがしています。

以上です。

馬場委員長

ありがとうございました。

私のほうからも、先ほど教育長報告にもありましたけれども、今回の定例会の資料をいただいて、一番よかったのは、子どもたちがいっぱい輝いている姿をまとめて載せていただいていたことです。スポーツ面でも文化面でも、また、学習面でも、いろんな子どもたちが認められて、本当にうれしかったやろなというのが、もうまずはじんと来て、それが一番よかったです。

その陰には、先生方の指導があったり、それから、学校の一生懸命の応援があったり、それから、やっぱり教育委員会がそれを支えているという、そういう視点で考えても、草津の教育は随分手厚く、みんなが支え合っているんで、こういう結果が出てきているんやなというふうに一番に思いました。

それから、もう一つ、きのう、実はさきらで行われたクリスマスコンサートに行ってきたんですが、そこにもいっぱい輝く姿を見ました。市民の方が、子どもたちもいたんですが、かなり年配のシニアの人たちも、本当に元気に、すばらしい歌声で歌を歌われるんです。ほんまに感動しました。

その中に、何でこんなことができるのかと、やっぱり指導者が多分すばらしいんやと思うんですね。これだけいろんな方の力を引き出せるような、そんな指導者を見ていて、学校現場の先生方も、それから教育委員会の皆さんも、そういうやっぱり指導力を持っていくことが、やっぱり一番みんなが輝く、そういうふうな草津市をつくるのではないかなというふうに思って、きのうはすごくいい一日を送らせていただきました。

ということで、教育長報告につきましては、これで終わらせていただきたいと思います。

馬場委員長

それでは、日程第5、「報告事項」に入ります。
まず、事務局より報告をお願いいたします。

スポーツ保健課長

スポーツ保健課の高岡でございます。報告事項の1点目、総合体育館耐震補強・大規模改修工事の建築に係る工事の変更について御報告を申し上げます。

資料の方は、2ページを御覧ください。

工事内容の変更につきまして、御説明申し上げます。

工事の箇所につきましては、下笠町の総合体育館、工事の期間につきましては、6月26日から来年の3月25日までということになっております。

契約の相手方は、株式会社千商、工事の概要につきましては、耐震補強工事といたしまして、柱の補強を行います工事と、既設屋根の鉄骨材の補強を行います補強工事と、2番目としましては、大規模改修工事で、1階の玄関通路等の改修、2階の通路、階段室等の改修、そして耐震天井の設置ということでございます。3点目が、外壁の改修工事で、ひび割れ、欠損部などの塗装仕上げの改修工事ということになっております。

変更理由でございますが、総合体育館のほうは、建設から約30年以上が経過しておりまして、今回、耐震補強工事とともに、老朽化した部分の大規模改修工事を行うこととして、さきの6月定例会市議会において、契約締結を議決をいただいたところでございます。

今回の変更につきましては、平成25年度公共工事設計労務単価の運用に係る特例措置ということで、労務単価のほうが大幅な上昇がございましたので、契約の相手方の株式会社千商から協議の請求がございまして、この特例措置に基づきまして、工事費の増額を行うとともに、当初予定いたしておりましたアスベストの除去業務につきまして、実際分析調査の結果、含有が認められなかったため、除去業務が不要になりましたので、この減額も行い、これは相殺して次のとおりの増額となったものでございます。

さらに、電気工事のほうが別途発注しておりましたが、入札不調によりまして、1か月間、工事の中止をしておりましたので、この工事の延長も合わせて行ったものでございます。

当該工事の工期の関係から、去る12月20日の11月定例会市議会閉会日に既に議決をいただいております。

変更の額につきましては、増額分が388万3,950円、消費税が18万1,950円となっております。変更後の契約額については、2億1,028万

2,450円、変更の工期が平成26年2月28日から3月25日まで延長したものでございます。

以上、簡単でございますが、報告とさせていただきます。よろしく申し上げます。

教育総務課長

続きまして、報告事項2、寄付受け入れ報告につきまして、教育総務課の山本が御報告申しあげます。

報告書の3ページを御覧いただきたいと思います。

このたび、草津第二小学校区教育振興会様から、草津第二小学校に対しましてシューズボックスを、それと玉川小学校教育振興会様からは、玉川小学校に対しまして、図書室用書架とテントを、それぞれ御寄付いただきましたので、御報告申しあげます。

以上でございます。

馬場委員長

ありがとうございました。

ただいま2点の報告事項がありましたけれども、このことにつきまして御質問等はございませんか。

各委員

— 特になし —

馬場委員長

ないようですので、以上をもちまして本日の議事は終了となりますが、ほかにこれ以外のことで何かございませんか。

生涯学習課長

生涯学習課の堀田です。お手元にチラシみたいなA4、2枚のほうをお配りさせていただきます。

教育委員の皆様には、既に御案内しておりますが、来年1月13日に新成人1,487人を対象に、平成26年草津市成人の日記念式典及び20歳のつどいを、20歳のつどい実行委員会の委員が司会進行で開催いたしますので、また、御出席のほう、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

馬場委員長

ありがとうございました。

ほかにございませんか。

お願いいたします。

図書館長

図書館からでございますけれども、児童文学講座の御案内でございます。1

月23日午前10時15分より、今関信子さんをお迎えしての講演会を開催しようと思っております。また、委員の皆様方におかれましては、御都合がございましたら、のぞいていただければというふうに思っておりますので、お待ち申しあげております。

以上でございます。

馬場委員長

ありがとうございます。

ほかにございませんか。

はい、お願いいたします。

谷川委員

体育館が出てきたので、野村の体育館が改修されるということをちらっと聞いたんですけども、それについて、体育協会の人から、もう少し増額してもらえると、国際大会が開けるような体育館ができるんだというようなことを聞いて、それはどれだけの増額か、ちょっと私もわからないんですけども、国体も踏まえて、開会式会場にも手を挙げておられるということですので、そのあたりもう少し検討していただけたら。

というのは、体力の報告をきょう受けたんですけども、子どもたちがやっぱりよい試合を見るということ、さらには、その施設を使って活動できるという、そういうメリットが多くあるので、そういったことも踏まえて検討してもらえたらと。

文部科学大臣表彰を社会体育の人が2人も受けられたということもありますので、地域でそういう盛り上がりや、子どもたちの体力の向上につながるんじゃないかなということもありますので、少し検討していただけたらと思いますけど。

馬場委員長

どうぞ。

スポーツ保健課長

スポーツ保健課の高岡でございます。今の谷川委員さんからの御指摘の部分について、簡単に御説明申しあげたいと思いますが、野村のスポーツゾーンにつきましては、現在の野村運動公園を草津川跡地とともに再整備をするということで、かなり広大な面積と、かなり多くの施設という構成になりますので、まずは、この5年間のうちに駅の周辺の中心市街地活性化の取り組みと合わせて、新しい体育館をさらに広くして整備をしていくということ、この5年間で先行して取り組んでいきたいと思っております。

その後、屋外の施設の整備ということになるんですけども、今回、今御指摘いただきました体育協会の皆さんからの御意見については、せんだって体

育協会の皆さんに、今の計画の内容を御説明申しあげまして、それぞれの各競技の団体さんからは、もう少しここを強化してほしいというような御意見の中の一つのものかなというふうに思っております。可能な限り反映をさせていただきますというふうに思っております。

さらに、先ほどの教育長報告にもございましたように、さきの11月定例市議会の一般質問のほうで、びわこ文化公園都市の国体の主会場についての御質問をいただいて、市長のほうから直接、答弁申しあげましたのは、今、4つ、県のほうで候補地がございまして、彦根と野洲の希望が丘とびわこ文化公園都市のところに県の公社の用地があります。そこと、大津市のほうが立候補されて、皇子山の陸上競技場のところの4カ所で、今これから選定作業が進んでいくんですけども、草津市としましては、びわこ文化公園都市に主会場を整備していただくことが、市にとって一番メリットが大きいだろうというようなことで、市長のほうから直接、御答弁をさせていただいたというところがございます。

馬場委員長

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

谷川委員

はい。

馬場委員長

ほかにありませんか。

各委員

— 特になし —

馬場委員長

ないようですので、これもちまして、12月の定例会を終わらせていただきます。

次回は1月21日火曜日、午後2時半から定例会を開催する予定ですので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

閉会 午後 3時06分